

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	い〜まCrea植田		
○保護者評価実施期間	令和7年12月22日		～ 令和8年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25人	(回答者数) 19人
○従業者評価実施期間	令和7年12月22日		～ 令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月19日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	経験豊富なスタッフが多く在籍していること。また、これまで蓄積してきた経験やノウハウを活かして、ご利用者様に対して、より良い支援が提供できていること。	固執した考え方に捉われず、個々の性格や障がい特性に合わせて、支援方法や取り組み内容を考えている。	言語聴覚士などの療法士を配置し、専門家からのアドバイスを受けながら、支援の質を高めていきたい。
2	職員の育成に力を入れ、サービスの改善や支援の質の向上に努めていること。	年間を通して、たくさんの社内研修を実施し、放課後等デイサービス事業所の職員同士で定期的に会議を行い、支援内容などについて話し合いを行い、常にサービス内容の見直しを行っている。	社内だけではなく、外部の情報も積極的に収集し、自事業所の支援に取り入れるなど、更なる改善に努めていく。
3	常に丁寧な対応を心掛けており、何事にも真摯に向き合い、子どもたちや保護者様との信頼関係を大事にしていること。	子どもたちに常に寄り添う姿勢を忘れず、子どもたちが安心して過ごすための環境づくりを意識している。それぞれが抱えている不安や悩みを一緒に解決していけるよう努めている。	子どもたちの生活面・精神面のサポートだけではなく、安全面においても防犯対策などを徹底し、本当の意味で安心して過ごせる環境づくりを目指していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設の情報発信	放課後等デイサービス事業所が増え続けている中で、情報発信も含め、自事業所のことを知っていただく機会が少ないと思っている。	事業所フェアに参加したり、InstagramなどのSNSを活用して、より多くの方に知っていただけるようにしていきたい。
2	外出機会の減少	人出を十分に確保することが難しいため、安全面を考慮し、外出の機会が減ってきてしまっている。	気候が安定している時期や利用時間が長い日は、外出する機会を設けるなどして、子どもたちが発散できる機会をつくっていきたい。
3	地域交流の機会の提供	現在は人出の問題などもあり、放課後児童クラブや児童館との交流などを行うことができていない。	今後は、児童館に行って活動するなど地域交流の機会を設けられるように努めていく。